

こうほう ショッキング

Vol.57

Kōhō shocking



おうぎ しずか
扇 静香さん

●プロフィール

37歳。豊玉町出身、庵原町在住。豊玉高校卒業後、福岡の美容室に勤務。その後、長崎のホテルでウエイトレスを経験。13年前に帰郷し、庵原町の「おはしのくに」に就職。接客のほか厨房でも腕をふるい才能を発揮、店長に就任。社長から薦められ、1年半東京のラーメン店で店長を経験した後、庵原町の「創菜もぐもぐ」の店長に。

○今のお仕事との出会いは？

もともと接客業が好きでしたので、対馬に帰ってきた時から自分に合う職場を探していました。その時「おはしのくに」がオープンすることを知り、それと同時にこちらに就職しました。○次々と独自性を発揮されたようですね。

それは、社長の仕事への姿勢が、社員にやる気を起こさせてくれるものだったから。熱意を持って仕事をされる社長の、その一翼を担いたいという気持ちになりました。こんなことがやってみたい、と言ったら「とりあえずやってみなさい」とOKしてくれ、失敗しても次は頑張ろうと思う気にさせられましたね。もともと料理することは好きなので、自分なりのコース料理を考案したり、手書きのお品書きを作ったりもしました。

○アイデアはどこから？

素材を手にするのと、どうアレンジしようかと考えたり調べたりします。芸能人の料理本や旅行雑誌、料理雑誌などいろんな雑誌からメニューを勉強したり、島外に出かけた時に数店巡ってその時期に合った料理の参考にしてみたり。お品書きは、いろ

んな店のメニュー表を見ているうちに、「自分でも書けるんじゃないか？」と真似たりアレンジしたりしてみました。今は、コース料理を提供していた頃の経験をお弁当のメニューにフィードバックできるよう、新しいメニューや旬のものを提供できるように心がけています。

○楽しいと感じる時はいつ？

(しばらく考えて)：やっぱり仕事している時が一番楽しい気がします。任される立場にいると、スタッフやお客さまのことを考えることが優先されますね。プレッシャーを感じたり葛藤した時もありました。でも、「自分でできないのかな？」と考えを切り替えて、今では割り切れます。楽しいけれど大変なこともあるって、だから楽しいのでしょか。なんだか血が騒ぐんです(笑)。「仕事が趣味」と言っても過言ではないかもしれません。

○責任者として心がけていることは？

自分が変われば周りが変わると感じます。自分が暗ければ周りにもうつりますから、笑顔でいることを心がけています。でも、考え事をしてついつい真顔

になってしまっていることも(苦笑)。飲食店はスタッフの入れ替わりも多く、その都度従業員教育も必要になるので、新しい風が吹くと思つて取り組めます。教える側も、再度確認ができる良い機会になります。

○お忙しい日々ですが、お休みの日にしたいことは？

豊玉に住む両親に何かしてあげたいですし、かわいい甥っ子や姪っ子にも会いたいです。仕事とは違う環境に身を置いて、ゆつくり温泉にでも入る旅にも出たいです。でも、旅先でもきついろいろなことが仕事に結びついてしまつてしまう(笑)。それと、今後さらに社会の高齢化が進んで、食に対して不便利だと感じる方が増えてくると思うんです。そんな方々のために、宅食サービスができるようにしていけないだろうか、と考えたりしています。：あ、やっぱり仕事の話になつちやいましたね(笑)。

毎回、登場してくださった方に次の方をご紹介します。このコーナー。次回は美津島町尾崎にお住まいの中尾憲明さんです。お楽しみに。